

『血液・尿のバイオバンク』を利用した生活習慣病の一次予防、健康寿命の延伸、健康障害の早期発見に有用なバイオマーカーの『共同開発』



栄養生命科学科
(公衆衛生学研究室)

くり き きよのり
栗木 清典

- 連絡先 TEL:054-264-5563 FAX:054-264-5563
- ホームページ <https://dfns.u-shizuoka-ken.ac.jp/labs/phealth/>

キーワード

血液・尿のバイオバンク、生活習慣病の一次予防、健康寿命の延伸、健康障害の早期発見、バイオマーカーの開発



研究1：生活習慣病の一次予防、健康長寿の延伸、健康障害の早期発見に関するバイオマーカーの開発

アピールポイント1：既に6.4千人の血液・尿の『バイオバンク』、健診、生活習慣のデータがある

研究概要：生活習慣病の一次予防、健康長寿の延伸、健康障害の早期発見を目指したゲノム（分子）疫学研究として、日本多施設共同コホート研究（J-MICC Study, <http://www.jmicc.com/feature/feature-01-02/>）は、「どのような体質（血液中の遺伝子情報）」が、「どのような生活習慣（食事や運動など）」の下で「どのような病気」になり易いかを明らかにする長期にわたる観察研究です。

当地区の独自研究では、お茶、柑橘、魚の摂取量の多い静岡県民（6.4千人）を対象に、食生活習慣要因や疾病情報などのデータ、ゲノム、血清・血漿、尿などの生体試料『バイオバンク』から、がん、心疾患、糖尿病、肝・腎疾患などに加え、精神ストレス、心の問題や物忘れについて追跡調査やバイオマーカーの開発を行っています。



研究2：生活習慣病の一次予防、健康寿命の延伸、食品・栄養素摂取量の相互関係を評価するバイオマーカーの開発

アピールポイント2：四季毎の血液・尿の『バイオバンク』、健診、生活習慣データがある

研究の概要：健康障害を早期に発見するだけでなく、食事・栄養指導による効果的な生活習慣の変容が可能となるバイオマーカーの開発に取り組むため、健康寿命の高い静岡県民を対象に、健康診断や食生活習慣要因のデータ、生体試料「血清・血漿（DNA）、尿」を『バイオバンク』として収集し、相互関連を検討しています。これらの成果を生活習慣病の一次予防や治療、健康寿命の延伸に応用していきます。

アピールポイント

『バイオバンク』の血液・尿試料を用いて、生活習慣病の一次予防、健康寿命の延伸、健康障害の早期発見に有用なバイオマーカーの共同開発に取り組む機関・企業を募集しています！